

渋谷発、日本初の障がいのある人・デザイナー・障がい者支援事業所による共創アートワーク(フォント・パターン)を日本中・世界中に届けるソーシャルプロジェクト「ご当地フォント」。本イベントは、全国から生まれた新たな「ご当地フォント」を発表するとともに、産官学福がどのように連携すれば障がいのある人のアートワークをより広く活用できるのか、そして、どのように企業価値の向上に結びつけていけばいいのかについて対話を行います。単なる社会貢献にとどまらない多彩なソーシャルインパクトを感じてください。

イベント

12月3日[土]

13:00~14:30

【トークセッション】福祉とデザインによる地域づくり

福祉とデザインのコラボレーションにより、地域の活性化、D&I推進などさまざまな課題解決の可能性について3人のキーパーソンが語り合います。



指出一正
SDGs マガジン
「ソトコト」編集長



伊藤大貴
株式会社ソーシャル・
エックス代表取締役

15:00~17:30

全国ご当地フォント発表会

大分、広島、富山、滋賀、東京都江戸川区の5拠点で生まれたフォント・パターンをご紹介します。



福島 治
東京工芸大学
教授



ライラ・カセム
一般社団法人シブヤ
フォント
アートディレクター



磯村 歩
一般社団法人シブヤ
フォント 共同代表
株式会社フクフク
プラス 共同代表



リアル、オンライン共に
公式ホームページよりお申し込みください。

12月4日[日]

11:00~12:30

シブヤフォントで対話型アート鑑賞

「観る・考える・話す・聴く」を繰り返すことで論理的思考やコミュニケーション能力を自然に身につけることができる、脳が脱皮する「対話型アート鑑賞」を実施します。

13:00~14:30

【トークセッション】フォントおじさんが語るフォントのはなし

アイデンティティを表現する手段として注目を集める「カスタムフォント」のソーシャルビジネスにおける可能性を探ります。



関口 浩之
フォント
エヴァンジェリスト

15:00~17:00

【トークセッション】障がいのある人のアートとSDGs ~全国の企業のチャレンジ

障がいのある人のアートを積極的に活用し、企業のSDGsへの取り組みに生かしている事例を、エイブルアート・カンパニーの大井卓也氏とともに紹介します。



大井 卓也
一般財団法人たん
ぽぽの家/エイブル
アート・カンパニー
関西事務局

展示

2022年12月1日[木]~5日[月] 11:00~19:00 *最終日のみ17:00終了

「ご当地フォント」をはじめとする障がいのある人のアートのさまざまな可能性を、
具体事例を展示しながらご紹介します。
またユニークなフォントづくりが体験できるイベントも!

渋谷発・日本初「ご当地フォント展」

場所：渋谷ヒカリエ8F「8/」COURT, CUBE 1,2,3

参加費：無料

協賛：フォントワークス株式会社/リベラル株式会社/株式会社トラストワーク/東京工芸大学/大和ハウス工業株式会社/日本たばこ産業株式会社/株式会社 木の家専門店 谷口工務店

後援：一般財団法人渋谷区観光協会

協力：アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター/アフラック生命保険株式会社/アフラック・ハートフル・サービス株式会社/株式会社内田洋行/エイブルアート・カンパニー/おおいだ障がい者芸術文化支援センター/おおきな木/東京工業大学リーダーシップ教育院/コクヨ株式会社/一般社団法人デザイナーズカンパニー ユーツー/富山県障害者芸術活動支援センター ばーと◎とやま/株式会社バソナハートフル/NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぼん/広島県アートサポートセンター/社会福祉法人 深明会 多機能型事業所 花椿かがやき/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/株式会社フクフクプラス/社会福祉法人ひらいらいミナル/株式会社 naNka/株式会社コント/社会福祉法人やまびこ福祉会 創作ヴィレッジこりり村
助成：公益財団法人日本財団 主催：一般社団法人シブヤフォント